

軽米建設発生土受入場
—LANDREUSE事業—

採石場跡地の有効活用と 現況復旧への取り組み

総合建設業・一級建築士事務所



株式
会社

ア/レ/バ ライフ



会社紹介ビデオ



会社概要

会社名 : 株式会社アルバライフ

設立 : 1984年（昭和59年）4月

※前身の佐藤建設工業株式会社で採石事業が開始され
1980年～2018年の**38年間**にわたり採取が行われました。

所在地 : 岩手県二戸市

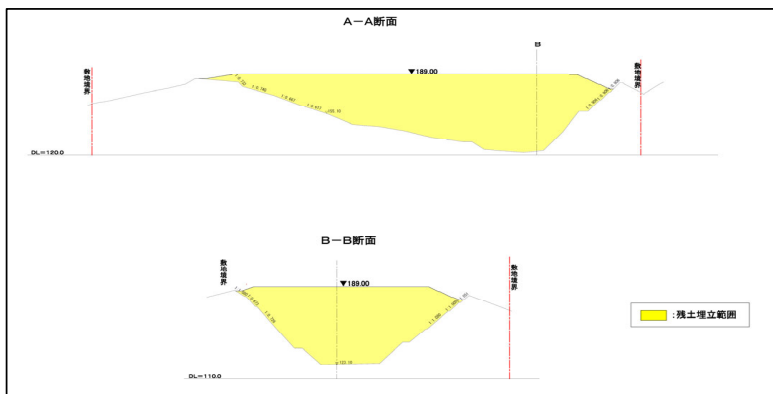
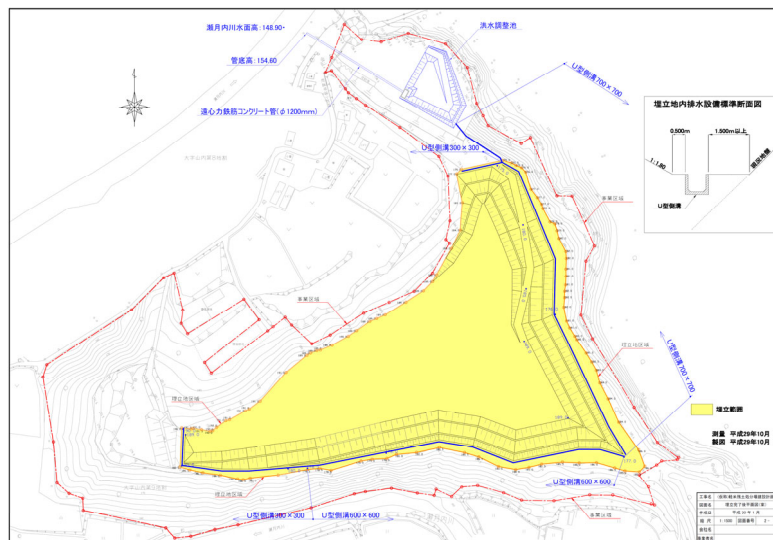
事業内容 : 総合建設業・一級建築士事務所

土木構造物の施工及び建築物の設計・施工

残土受入業務

企業目標 : 「お客様に満足と信頼の提供」

軽米建設発生土受入場概要



- ・ 名 称 軽米建設発生土受入場
- ・ 所在地 岩手県九戸郡軽米町大字山内第9地割30
- ・ 受入容量 75万 m^3
- ・ 受入費 800円/t ※1,200円/ m^3
- ・ 受入可能建設発生土(第1～4種発生土)
- ・ 休場日 当社営業カレンダーによる
- ・ 受入時間: 午前8時30分～午後4時30分
※事前予約が必要



注意事項

搬入時に受入れできないと判断した場合は荷下ろしせずに持ち帰りしていただきます。
荷下ろし後に判明した場合は、搬入者の費用にて撤去をしていただきます。

背景と課題と建設発生土受入事業開始までの流れ

- 採石終了後の広大な跡地の現状復旧の課題
多額の費用が見込まれる
- これを解決する手段として、産業廃棄物の最終処分場として計画
隣接する河川への汚染リスクや地元の反対があり断念した。
- 全国で頻発する豪雨による土砂災害や自然の脅威、静岡県で発生した
不適切な盛り土や、残土の不法投棄による社会的なリスクにより盛土規
制法が施行

採石跡地を適切な受け入れ先として事業化することにより、リスクの低減が図れるとともに料金をいただきながら採石跡地の埋め戻しが行える。また、廃棄物ではない発生土のみを受入するので汚染リスクはないため環境への悪影響は生じない。

採石場跡地を建設発生土受入場にするまでの流れ

- 岩手県広域振興局二戸農林振興センターへの**林地開発許可変更届**
- 岩手県広域振興局保険福祉環境部への**岩石採取計画認可**
※採石の採取は行わないが現況復旧までは、採石場としての運用を継続する必要があるので、この2つの書類の提出が必要。
※埋立完了、敷地緑化の完了を2044年として計画
- 建設発生土受入場整備
計量システム、トラックスケール、操作ポストを導入し、受入場と本社とのパソコン通信環境を整備

申込み～搬入までの流れ

1

お申込み

(株) アルバライフ TEL:0195-27-3330 FAX:0195-27-3579
<https://landreuse.albalife.jp> より「土砂搬入申込書」をダウンロードして下さい。

2

契約

必要事項を記入し、FAX していただければ弊社より郵送にて契約書を送ります。

3

振込

予定数量分の受入費を前金にてお振込みいただきます。

4

運搬車登録・車両
予約票の発行

土砂運搬車両の登録をし車両予約票を発行します。※複数台登録可

申込み～搬入までの流れ

5 土砂搬入予定の連絡

搬入日時・数量を搬入連絡書にて**搬入 2 日前まで**にお知らせ下さい。

6 搬入

搬入土の確認・計量。計量機は車両予約票が無ければ計量できません。

7 精算

総受入れ数量を集計し、前金との差額を追加請求又は返金します。

現場の計量状況遠隔確認

Network Camera WV-S1510

車番 積載物

ライブ画 設定

ライブ画表示
マルチスクリーン
レイアウト
4分割 (1-4)
画像更新間隔
MJPEG
解像度
640x360
全画面

Jul/25/2025 13:50:15

2025/07/25 13:51:15

現場でトラックスケールに乗ると、車両の写真記録が残る。
本社事務所で、この映像がリアルタイムでも確認できる。

計量手順



トラックスケール計量手順

- ①トラックスケールに侵入して現在重量を測定
- ②車両予約票のQRコードをカメラにかざす。
- ③読込させた予約票の値が正しければ④で計量を始める

計量メニュー		2024/05/20 13:53:02
元請業者	建設 (株)	現在重量 12300 kg
搬出現場	青森建設工事2024	空車重量 2000 kg
搬入業者	(有) 青森建設	正味重量 10300 kg
車両番号	10-12	
車種	2 t	
計量が完了しました。前へお進みください		
初期化	直前再発行	計量

- ④「計量」ボタンを押して計量を完了します。
- ⑤計量伝票が「元請業者用」と「搬入業者用」の控えが2枚印刷されるので、お受け取りください。
- ⑥建設発生土受入位置まで進行して荷下ろししてください。

荷台に荷物を載せたまま計量して、かざしたQRコードに記録されている車両重量との差を土量として扱う。

車両予約票

元請事業者名 ○○建設

工事件名 令和6年度○○解体工事

搬入業者名 ○○運送

車両番号 12-34

車体重量 10,240 kg

① 山側に向かってトラックスケールに進入し、停車位置に停車します

② 計量操作盤のQRリーダーに本紙右上のQRコードをかざします

③ 計量操作盤の表示内容を確認し、画面右下の「計量」ボタンをタッチします

④ 計量値が印刷されますので、元請業者控え・搬入業者控え2枚お受け取りください

⑤ 位置を受け取りましたら捨て場までお進みください

⑥ 退場時には順路に従ってお乗りください

場内順路

山側にご注意ください

捨て場 回転場所 バックで...

事務所

山方面

入口ゲートに進入します

入場時はトラックスケールに停車します

退出時はトラックスケールに停車せずにお乗りください

出口 入口 R340方面

現場連絡先 090-1234-5678

計量が終わったら受入場で荷下



事前に搬入予約していた
だいて、搬入日には受入
場に係員を配置して、荷
下ろし可能なものである
か確認をしたのち、荷下
ろし場所を指示する。

荷下ろし後はトラックス
ケールに乗らずに退場す
る。

建設発生土受入証明書の発行

建設発生土受入証明書	
(搬入元事業者)	
(株)●●●●建設 殿	
建設発生土について、下記のとおり受け入れたことを証明します。	
記	
受入れ場所の所在地	岩手県九戸郡軽米町大字山内第9地割30
受入れ土砂等の量	0.000 m ³
受入れ土砂等の量の確認方法	トラックスケール計量システムによる現地重量実測
受入れ土砂等の産生元工事の名称	令和●年度 道改修●第●●●●号 道路改良工事
受入れ土砂等の産生場所の所在地	県道 ●●●●線 ●●市大字●●
土砂等の運搬事業者の住所、氏名及び電話番号	●●市大字●●0000番地 祐●●運送 代表取締役 ●● ●●

添付書類

- 1 受入れ地の位置図
- 2 受入れ土量の根拠資料（計量実績一覧）
※特定事業土砂等管理台帳の抜粋等でも可

令和 年 月 日

(受入れ値事業者)

住 所 岩手県二戸市金田一字ハツ長88-5

名 称 株式会社アルバライフ

氏 名 代表取締役 佐藤 一順
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0195 (27) 3330

搬入事業者から建設発生土受入証明の提出を求められた場合は、左記の書式に必要事項を記入して提出する。

受入れ土量の根拠として計量システムから出力できる計量実績一覧表か契約毎の元請事業者別契約書別集計表の内訳の印刷データを添付する。

軽米建設発生土受入場周知及び広報活動

(9) 2025年(令和7年)9月8日(月曜日) 日刊(土曜、日曜、祝日休刊)

インタビュー

アルバライフ(二戸市 佐藤一順代表取締役社長)は、軽米町の採石場として活用していた土地を建設発生土の受入先として再利用する事業を立ち上げた。2023年5月に盛土規制法が施行され、建設発生土の適正な処分が強く求められる中、同社は受け入れ先の不足や適正な処分先が課題となっていることに着目。佐藤社長にその経緯や今後の目指す方向性を聞いた。



採石場跡地を「LAND REUSE」で持続可能な未来へ

アルバライフ(二戸市 佐藤一順代表取締役社長)は、軽米町の採石場として活用していた土地を建設発生土の受入先として再利用する事業を立ち上げた。2023年5月に盛土規制法が施行され、建設発生土の適正な処分が強く求められる中、同社は受け入れ先の不足や適正な処分先が課題となっていることに着目。佐藤社長にその経緯や今後の目指す方向性を聞いた。

佐藤一順氏は、軽米町の採石場跡地を建設発生土の受入先として再利用する事業を立ち上げた。2023年5月に盛土規制法が施行され、建設発生土の適正な処分が強く求められる中、同社は受け入れ先の不足や適正な処分先が課題となっていることに着目。佐藤社長にその経緯や今後の目指す方向性を聞いた。

アルバライフ代表取締役社長

佐藤一順氏

弊社活動を広く知ってもらうことを目的に建設業界の専門新聞(建設新聞、岩手建設工業新聞)への紹介記事を取り上げてもらいました。



採石場跡地を「LAND REUSE」で持続可能な未来へ。建設発生土の受入先として再利用する事業を立ち上げた。2023年5月に盛土規制法が施行され、建設発生土の適正な処分が強く求められる中、同社は受け入れ先の不足や適正な処分先が課題となっていることに着目。佐藤社長にその経緯や今後の目指す方向性を聞いた。

採石場跡地で残土受け入れ「LAND REUSE」SDGs実現の一助にも

アルバライフ



佐藤一順代表取締役社長(同)

岩手県二戸市。採石場跡地を建設発生土の受入先として再利用する事業を立ち上げた。2023年5月に盛土規制法が施行され、建設発生土の適正な処分が強く求められる中、同社は受け入れ先の不足や適正な処分先が課題となっていることに着目。佐藤社長にその経緯や今後の目指す方向性を聞いた。

建設新聞への広告掲載

軽米建設発生土受入場 LAND REUSE

LAND REUSE(ランドリユース)とは、採石場として活用した跡地を建設発生土の受入場として再利用することが、全国の採石場跡地が抱える諸問題を解決するモデルケースになると位置付けた事業です。

受入できる建設発生土 ▶▶ 第1種〜第4種

受入地	岩手県九戸郡軽米町大字山内第9地割30
受入容量	75万m ³
受入単価	800円/㎡(税別) ㎡換算すると1,200円/㎡(税別)
受入時間	8:00~16:30
休業日	土日祝祭日(当社営業カレンダーによる)

受入場概要: トラック専用ゲート、作業ポスト、安全対策フェンス、監視カメラ、GPS位置情報システム、GPS位置情報システム、GPS位置情報システム

総合建設業・一級建築士事務所 株式会社アルバライフ

〒028-5711 岩手県二戸市金田一宇八ツ長88-5
TEL 0195-27-3330 FAX 0195-27-3579

まずは下記までお気軽にお問合せください。

受入場ホームページ <https://landreuse.albalife.jp>

会社ホームページ <https://albalife.jp>

窓口メールアドレス landreuse@albalife.co.jp

岩手建設工業新聞への広告掲載

軽米建設発生土受入場 LAND REUSE

LAND REUSE(ランドリユース)とは、採石場として活用した跡地を建設発生土の受入場として再利用する事業です。

受入できる建設発生土(第1種〜第4種)

受入地	岩手県九戸郡軽米町大字山内第9地割30
受入容量	75万m ³
受入単価	800円/㎡(税別) ㎡換算すると1,200円/㎡(税別)
受入時間	8:00~16:30
休業日	土日祝祭日(当社営業カレンダーによる)

受入場概要: トラック専用ゲート、作業ポスト、安全対策フェンス、監視カメラ、GPS位置情報システム、GPS位置情報システム、GPS位置情報システム

総合建設業・一級建築士事務所 株式会社アルバライフ

〒028-5711 岩手県二戸市金田一宇八ツ長88-5
TEL 0195-27-3330 FAX 0195-27-3579

まずは下記までお気軽にお問合せください。

受入場ホームページ <https://landreuse.albalife.jp>

会社ホームページ <https://albalife.jp>

窓口メールアドレス landreuse@albalife.co.jp

以上が建設発生土受入事業の概要説明です。
ご静聴ありがとうございました。

建設発生土受入場 LAND REUSE

受入できる建設発生土(第1種～第4種)

受入地 岩手県九戸郡軽米町大字山内第9地割30

受入容量 75万m³

受入単価 800円/t(税別) m³換算すると1,200円/m³(税別)

受入時間 8:00～16:30

休業日 土日祝祭日(当社営業カレンダーによる)

LANDREUSE(ランドリユース)とは当初、採石場で活用した土地を発生土の受入場として再利用しています。

まずは下記までお気軽にお問合せください。

株式会社 **ア/レ/バ/ライフ**

〒028-5711 岩手県二戸市金田一字ハツ長88-5

TEL 0195-27-3330 FAX 0195-27-3579

受入窓口 ホームページ <https://landreuse.albalife.jp>

会社 ホームページ <https://albalife.jp>

窓口 メールアドレス landreuse@albalife.co.jp



発生土受入エリア



トラックスケール



操作ポスト

